



## 〔萩に関する自由研究〕

## 『小さな笠山の大きな魅力』



◆笠山のプロフィール

菊ヶ浜から見た笠山（右）  
平たく美しい形をしています。

本海に突き出すように見える笠山は、標高一一二mの本當に小さな、日本でも最小クラスの火山です。

まず、笠山がどのような火山活動によって誕生したかを紹介していきます。約一万一千年前、この一帯は陸地でした。そこに噴火により大量の溶岩が広範囲に流れ出し、安山岩の溶岩台地ができ、その上にさらに溶岩が流れては固定することを繰り返し土台ができあがりました。

約八千八百年前になると、溶岩流を噴出させる噴火から

◆笠山の溶岩を見てみよう  
フィールドに出てみると、異なる形状の溶岩を手軽に観察することができます。

まずは溶岩台地の方を見てみましょう。虎ヶ崎周辺の海岸に立つと、黒いごつごつした岩に覆われています。溶岩の外側と内側で流れる速さが異なることで、縄状のしわが固まって壁状の溶岩堤防ができると、溶岩の様々な表情を見ることができます。

## ◆笠山の溶岩を見てみよう

フィールドに出てみると、異なる形状の溶岩を手軽に観察することができます。

簡単に説明しなおすと、平たく広い溶岩台地ができ、その上に二段重ねのスコリア丘ができたことにより、離れたところから見ると中央部が盛り上がり、市女笠（いちめがさ）のような形となつたといふわけです。

ストロンボリ式噴火に変化します。これはマグマのしぶきが噴き上がりつて降り積もつていくもので、これにより丘（スコリア丘）ができました。最後に、その上にさらに小さなスコリア丘ができ、噴火活動

## ◆笠山のきょうだいたち



火口周辺の溶岩は軽石状。

A wide-angle photograph of a coastal scene. In the foreground, dark, jagged rocks are scattered across the shore. A massive, white-capped wave is captured in mid-crash, its spray flying high into the air. The ocean extends to the horizon, where a distant, low-lying island or landmass is visible under a clear, pale blue sky. The overall atmosphere is one of raw natural power and beauty.

黒々とした海岸沿いの溶岩  
に波が打ち寄せていました。

これらの島々は、実は二万年前から六万年前にかけて次々に誕生した火山です。笠山と同様に安山岩による溶岩台地ですが、ふつうは粘り気が強く傾斜が急になるのに、平たい台地を作っているのは珍しく、日本はもとより世界でもほとんど類を見ないそうです。ご覧ください、本当に平たんな島々ですよ。

島といいます。平べったい島々だと思いますことでしょう。この独特な景色も萩の魅力のひとつといえます。

萩六島は笠山のきょうだいということで阿武火山群の仲間となっていますが、驚くなれ、阿武火山群は約五〇〇もの火山の集まりなのです。こ

萩六島は笠山のきょうだい  
ということで阿武火山群の仲間となっていますが、驚くな  
かれ、阿武火山群は約五〇もの火山の集まりなのです。二二



日本海に浮かぶ萩六島。相島と大島は有人島。これ以上ワイドに写せず残念。

※令和元年（二〇一九）六月に作成しましたが、未発表だったのを掲載することにしました。